

## 省エネルギーへの取り組み

全国の TOHO シネマズの映画館においては、照明器具(自社資産部分のみ)の LED 導入率は 2026 年 2 月時点で約 83%に達しており、100%導入を目指し順次切り替えを行っています。

また、LED 化に加え、より発光効率の高いレーザー映写機を導入し、従来機比で 5~6 割の電力消費に抑える取り組みを推進しています。2021 年度~2025 年度までの5か年計画で既存劇場でのランプ映写機の更新を実施しており、2026 年 2 月現在 61 劇場にて「全スクリーンレーザー映写機導入」が完了しています。

その他、映画館内の空調機の温度や稼働を自動コントロールすることにより高い空調効率を実現する「GrEenM2」(旧称: GeM2)を全国の劇場で順次導入し、消費エネルギーの削減を図っています。

東宝グループでは、今後も省エネルギーに取り組み、CO2 排出量の削減に努めてまいります。

一部の劇場の衛生器具に節水器を導入しており、2026 年時点でおよそ半数の劇場に導入されています。

### ■ TOHOシネマズでの省エネルギーへの取り組み例

- 照明器具のLED化
- レーザー映写機の導入
- 空調機コントロールシステム「GrEenM2」(旧称: GeM2)の導入
- 節水機の導入

東宝グループでは再生可能エネルギーの利用や保有物件の環境認証取得等を通し、CO2 排出量を指標とした削減に努めています。東宝グループにおいて近年最も CO2 排出量の多かった 2017 年度を基準年に、毎年その排出量削減の進捗を追っており、TOHOシネマズもグループの一員として目標の達成に向け引き続き削減活動に注力してまいります。なお、東宝グループの Scope1,2 排出量は以下の通りです。

(単位:t-CO <sub>2</sub> )	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
Scope1	6,841.5	5,460.0	5,534.4	6,042.8	5,547.8	5,483.8
Scope2	57,613.1	47,574.6	48,566.1	48,391.5	46,255.4	44,149.6
Scope1+2	64,454.6	53,034.6	54,100.5	54,434.3	51,803.2	49,633.4
2017年度比	-18.4%	-32.9%	-31.5%	-31.1%	-34.5%	-37.2%

注1) 東宝グループのCO<sub>2</sub>排出量の算定にあたり、東宝の事業年度を基準とした計測を実施しています。具体的な期間の設定は以下をご参照ください。2019年度は2019年3月1日~2020年2月末日、2020年度は2020年3月1日~2021年2月末日、2021年度は2021年3月1日~2022年2月末日、2022年度は2022年3月1日~2023年2月末日、2023年度は2023年3月1日~2024年2月末日、2024年度は2024年3月1日~2025年2月末日を指します。

注2) 東宝グループのCO<sub>2</sub>排出量は、上場会社であるスバル興業グループを除きます。

注3) 東宝グループのCO<sub>2</sub>排出量は、「エネルギーの使用の合理化および非化石エネルギーへの転換等に関する法律」に基づき報告義務のあるエネルギーを対象としたものです。

注4) 2023年度、2024年度のCO<sub>2</sub>排出量実績(Scope1,Scope2)については、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による第三者保証報告書を受け、信頼性の向上を図っています。